

女子ソフト「戸田中央病院」ようこそ

出身の医師が縁 せたなで初合宿

【せたな】日本女子ソフトボール1部リーグで前半戦を8勝3敗の3位で折り返した埼玉県の戸田中央総合病院チームが23日、町内北檜山区の真駒内球場を主会場に夏合宿を始めた。9月8日に始まる後半戦に向け、トレーニングに励む。

町民プールの建設費用などを寄付しているチームの特別名誉代表の医師中村隆俊さん(90)がせたな町出身のため話がまとまり、町内での初合宿が実現した。

選手とスタッフ計21人は、19時間かけて22日深夜

に到着。疲れも見せず、23日朝から練習を開始した。



守備練習に励む戸田中央総合病院の選手たち。23日、せたな町の真駒内球場

多くの町民が見学する中、田上美和監督が「下(半身)を使え」「しんどい時こそ声を出すのがチームワーク」などと選手を鼓舞しながら守備練習に打ち込んだ。

主将の田中江理奈二塁手(25)は「目標の決勝トーナメント進出に向け、厳しく追い込む」、前半戦をリーグ4位の打率4割7厘と打線を引っ張る坂本結愛捕手(22)は「1球でも多く打ち込む」と決意を語った。田上監督は「涼しいせたなで温かい町民の歓迎を力に、チーム一丸で強化する」と強調した。合宿は今年29日まで。1部リーグは12チーム中上位4チームが11月の決勝トーナメントに進出する。

(森田彰)